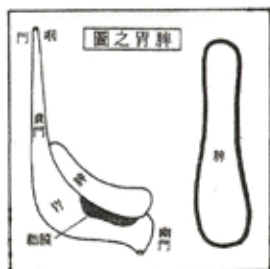


★漢方談義★

「脾」と「胃」

太田 順康

「脾」は前に述べたように「脾臓」とは随分違います。図にあるように脾と胃は膜以て相連なると云っています。



また「脾」は脾の気を「胃」に送り、消化を助け、「胃」は水穀から精気を取り出し「脾」に送り残った滓を小腸に送り出します。場所から云っても機能から云っても「脾臓」に近いようです

ちなみに「脾」は脾の気（消化に必要な酵素）を出す場所全般を指しています。胃の胃液を出す腺、小腸の消化酵素を出す腺、なども「脾」に含めているようです。

「胃」も同じで、消化吸収する場所である、小腸、大腸も「胃」に含まれています。胃は胃腸全体を指しています。

平胃散と云う漢方薬は胃も腸も平らかにする薬で、胃炎にも腸炎にも使います。

また調胃承気湯と云う薬は腸を調べ、気（ガス）を追い出し、腹満や腹痛を治し、便秘をつける薬で、胃より大腸の薬です。

「脾」はたらき

- ①倉廩（穀倉）の官、五味（酸、苦、辛、甘、鹹）出ず。
 - ②運化（消化）を司る。
 - ③筋肉を司り、また意（こころ、思い）を蔵す。
 - ④胃のために津液をめぐらし、胃から得た水穀の精気（五味）を肺に送り全身に散布させる。
 - ⑤営（栄養の働き）を蔵し、血をつつみ、血を統べ、血を生ず。（これは脾臓の働きに似ています）
- 脾は湿を悪（にく）み、水分過剰は胃腸を弱らせる。

飲食労倦（飲食や生活上の不摂生）や甘味の摂りすぎは脾胃を弱らせます。また酸味の摂りすぎは肝が脾を抑えるので脾の働きが無くなります。苦味の摂りすぎは脾が乾き、胃が強ばると云います。五味をバランスよく摂ることが体のために大事なことです。

「胃」の働き

- ①脾と同じ倉廩の官。受納の働き、水穀を受け入れ、精気と糟粕を脾及び小腸に納める。



すこやか教室 山歩き

曜日と時間： 毎週金曜日 10:30～

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参

<11月の予定>

10日（金） 17日（金） 24日（金）

紅葉が始まり、秋晴れの日々を思っていたのですが、10月は意外なことに雨の多い月でした。その上台風が二度も。各地で土砂崩れによる被害があり心が痛みます。松尾池からの登山道も相変わらず水が流れたりして、木が倒れたり石が落ちてきたりと気になります。そんな中、今年はどうぐりがたくさん落ちて来ていたり、小鳥たちが活発に飛び回り、秋を感じさせてくれています。

§ 漢方相談日

（担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師）
今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

6日（月） 13日（月） 20日（月）

§ 11月の休診日

3日（金・祭日） 23日（木・祭日）

§ 甲状腺エコー検査を始めました。

ご希望の方は、受付までお申し出ください。

§ 特定健康診査・すこやか健診（岐阜市）

すこやか検診：9月1日（金）～ 11月30日（木）

ぎふすこやか健診受診券、後期高齢者医療被保険者証をご持参ください。

負担額 500円

②中焦（三焦の一つ後述します）から受けた適度の熱と脾からもらった脾の気によって、水穀を分離して精気（五味）を脾に送り、糟粕（かす）を小腸に渡す。

この五味が五臓を栄養します。

糟粕は小腸から大腸と膀胱に渡され大便と小便になり、体外に排泄されます。

（つづく）